

一喜一憂

No. 5

「一喜一憂」

情況の変化に喜んだり、心配したりすること

藤屋 侃士

(下松市幸ヶ丘)

春の味

今年は例年より桜の開花が早いという。身の回りでも春の訪れを感じる。露のとう、露の若葉、みつ葉、菜の花といったこの季節にしか味わえないものを



大量に届いた甘夏

甘夏10個に、砂糖が1キ。大鍋いっぱいのできあがつてきている。おすそわけした友人たちから、次々とお返しが届く。大根、ホウレン草、りんご、煮物などなど。我が家の食卓がにぎわっている。近所づき合いが減った、人と人の交わりが少なくなったと言われて久しいが、幸いにも、多くの友人、知人に助けられて、日々の生活を送ることができているのはありがたい。

楽しむ。独特のほろ苦さは春の訪れを感じさせてくれる。

1月に降った雪で、我が家のきんかんとゆ

は、冷凍みかんが駅の売店で売られていて、電車の供(とも)であつた。みかんも冷凍すると乾燥してしまうのだ

良い。妻がマーマレードを作った。風味が良く、皮にはさわやかな苦味が残っていて美味しい。

少し手間をかけて作ったものを喜んでもらえることは、作つた者にとつてもうれしいことだ。このマーマレ

スーパで買ってきいた菜の花のつぼみが黄色くなつてきたからと妻が花びんに生けていたら、見事に花が咲いた。思いがけず、家中に春がやつて来た。

庭のアーモンドの木にも、桜のような花が満開になった。退職の記念に植えて15年が過

が、この冷凍みかんは冷やしては水につけることを繰り返して、アイスキャンデーのような食感に作り上げるぞうだ。

甘夏をくださつた友人にマーマレードをお返ししたら、喜んでくださり、さらに30個以上を贈ってくれた、今年の春の味である。

ド、ほろ苦さも味のうちにマーマレードをもち。皮の厚さがバラバラなのも愛嬌。人と人をつないでくれた、今年の春の味である。

庭のアーモンドの木にも、桜のような花が満開になった。退職の記念に植えて15年が過

私が若かつた頃にはつやがあつて香りも

この甘夏、実はパサパサしているが、皮にはつやがあつて香りも

良い。妻がマーマレードを作った。風味が良く、皮にはさわやかな苦味が残っていて美味しい。

少し手間をかけて作ったものを喜んでもらえることは、作つた者にとつてもうれしいことだ。このマーマレ



美しく咲いた菜の花



どんどんできるマーマレード